

## 西脇市幼保交流研修・保育士等キャリアアップ研修（幼児教育分野）

受講者感想 （2021.10.25）

- |   |
|---|
| <p>○瀧川先生から、公開保育の前に保育を見るポイントや注目すべき点について伝えていただいていたので、より具体的な部分を見ることができました。楽しむ、満足、協力といったそれぞれの学年でねらいとして取り組んだ活動がよく分かり大変参考になりました。</p>  |
| <p>○0・1・2歳児を主に見学させていただきましたが、全体的にとっても温かい雰囲気落ち着いていると思いました。自由遊びをしている0歳児、2歳児クラスでは一人ひとりの姿や気持ちをその都度汲み取りながら、先生が子どもの思いをよく聞いてあげられているなど印象に残りました。また1歳児クラスでは製作とどんぐり遊びが並行され、違った活動であっても、秋の自然であるどんぐりに触れるという、共通の内容があつて勉強になりました。他にも、たくさん子ども達がいる中で、場や物を巡ってトラブルになったり、2つの活動を行き来して集中が欠けてしまったりする姿も目立たず、日々の先生方のかかわりの積み重ねの大きさを実感しました。</p> |
| <p>○今回の研修、公開保育に参加し、子どもが自主的にやりたい！と思えるような保育をしていきたいと改めて感じました。経験知から遊びを進めることが大切で、お店屋さんごっこをするにあたり、たくさん子ども達と話し合つて進めていきたいと思いました。</p>  |
| <p>○子ども達が楽しんでいる・頑張っているという姿が大事だなと感じ、子ども達が生き生きと、自分のひらめきや考えを自発的に出せるような保育を心がけていけるように今日の保育を見て改めて考えていけました。今後活かしていきたいです。</p>   |
| <p>○これまでの保育の積み重ねとしての今日の姿だったと思います。子ども達はとても意欲的に取り組んでいました。子ども達のトキメキ・ヒラメキを大切に、十分に満足して遊び込める為の環境の大切さを改めて感じました。</p>  |
| <p>○お店屋さんごっこという、自園でも毎年取り組んでいる保育の内容だったので、3～5歳児の取り組み方の違いや保育者の働きかけをしっかりと見ることができて良かったです。また、“ごっこ遊び”は全年齢を通して子ども達が夢中になれる遊びなのだと改めて感じました。</p>  |
| <p>○日々の保育の中で、子どもが夢中になって遊ぶ姿を認め、何が育ってほしいのかを10の姿に当てはめながら保育していきたいと改めて学びました。また、イメージをすることは一人ひとり違うので、環境を整えていきたいと思いました。</p>   |
| <p>○実際の保育を見せていただきながら、ここまでの形にくるまでどんな過程があつたのか想像もしながら見させていただきました。言葉・文字だけで理解・考えるより、見る方が知識として、しっかり入ってくる気がしました。それは子どもに対しても同じだと思うので、今後の保育でもっと大切にしていきたいです。</p>  |
| <p>○遊びを十分に満足いくまで行うことによって次の活動への切り替えや、心を満たされることにつながっていく事を学びました。また、乳幼児期に安心した生活を送ることは自立へつながるので、日々の保育で心豊かに過ごせるようにしたいと思いました。</p>  |
| <p>○午後だけの研修の参加でしたが、公開保育の写真を用いた話もあつて、分かりやすかったです。特に「10の姿」については、写真や動画を見た後にどこに当てはまるのかを考えることができたので勉強になりました。</p>  |

## ○どれみこども園（公開保育園）感想

○前回に続き、公開保育という、誰かに見られる経験をし、保育を見つめ直す機会となりました。子ども達一人ひとりにとって何がいいのか、何を求めているのか、丁寧にみる事ができたと思います。この思いを継続できるようにしていきたいと思います。

○異年齢で行ったお店屋さんごっこをみんなで楽しめることができて良かったと思います。4歳クラスとしては、また一つみんなで作りあげる経験値がUPしました。これからも、子ども達が自発的に動けるように考え、トキメキ・ヒラメキを活かした保育ができるようにしていきたいと思いました。

○いつもと違う雰囲気の中で、初めは緊張気味の子ども達だったが、時間がたつとすぐに慣れて上手に接客できていました。何度も経験することで子ども達の自信につながったと思います。異年齢でのかかわりも良い経験につながったと感じました。子どもの気付きを大切にしながら今後の保育につなげていきたいです。

○子どもの興味関心をしっかりと認識して「10の姿」を意識して保育をしていきたいと、今日の研修を通して感じました。1つの活動から枝分かれしていく子ども達の力、感性を見逃さず、資質・能力の向上に向けて保育を組み立てていきたいです。

○ごっこ遊び、お店屋さんごっこを通して幼児教育の意義や環境について発達に応じた保育内容等を育む事ができ、子どものトキメキ・ヒラメキを振り返り、今日の保育について振り返ることができたので、とても勉強になりました。

○幼児期の終わりまでに育てほしい姿（10の姿）を念頭に、子どものトキメキ・ヒラメキを大切に保育をすすめていきたいです。子どもの気付きや発見は、保育者がアンテナを張って、気が付くことから始まるので、更に観察し、豊かな感性を保ってほしいと思います。キーワードは、満足と笑顔、安心、自己肯定、層の厚みです。

○保育者が遊びを提供するだけでなく、子ども達が気付いたことややりたい遊びを受け止め認めていくことが大事だと思いました。子どもの様子を見て、興味をもっていることを見極め、好きな遊びや、自分で考えて行うような遊びを意識して取り入れたいです。

○子どもの活動の写真や動画等を使つての話がとてもわかりやすかったです。子ども達が笑顔で楽しめる保育、トキメキ・ヒラメキを活かした保育ができるよう、頑張りたいと思います。

○10の姿を視野に入れて保育を考えていくと、薄い部分、分厚い部分に気付き、年齢によってより分厚くしたり、均一になるよう新たなきっかけを作ったりと、保育を進めていく上で、とても役に立つことが分かりました。

○子ども達が自発的な活動や遊びができるような環境作りを考えることが大切だと改めて感じました。色々な活動や遊びを通して、子ども達に寄り添い、一緒に考えたり見守りながら子ども達の興味や関心を引き出せる保育ができるように子ども達とかかわっていききたいと思います。

○幼児期の学びは小学校へもつながるということで、いかに園での生活が大切か改めて分かりました。特に年長児は、小学校へ向けて不安もあると思うので、園と小学校連携していき、親子共に安心して次に進めるようにアナウンスしていきたいと思いました。また、クラスの子供達は何を好きなのか、何をしたいか等を考えながら子ども達の興味を引き出せるような環境設定、保育内容を考えていきたいです。